

第40回 釜ヶ崎夜間学校

7/9 テーマ「原子力発電所と我々」

「喜望の家」一階にて

新しい仕事にひそむ被ばくの危険

日雇の仕事で時代によって変わっていくものがある。今新しい下請の仕事で原子力発電所行きがある。関西電力などがもっている原発は福井県の若狭湾にあり、釜ヶ崎からも最近出張が増えている。科学技術の料を集めたといわれる原発は安全という神話がかまかり通っている。しかし原発内の密室での事故や故障が年々増えていく。この冬も、日本電源の原発で大事故

を起し隠していたことがわかり大騒ぎになったことは氷山の一角だ。平常時でも被ばくの危険にさらされているのは、正社員でなく下請労働者そのものだ。放射能除染や補修作業や雑役の仕事がその内容である。すでに教えきれない労働者が被ばくして、その後仕事できず生活に苦しんでいる。目下裁判で闘っている事例もある。危険がつきまといやっかいな

(仮称)釜ヶ崎夜間学校とは

我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活していく中で、誰かもがいつかは必ずぶつかると同時に、皆の問題でもある仕事や病気等

を、皆の力で解決していく為に先生と生徒の関係をなく、皆が生徒で先生でもあるという対等な関係の中で、互いの知識と経験を通して学び考え合う自由な場です。多くの仲間を待っています。運営にも参加して下さい。

原稿募集中

仕事は下請に、そして日雇へともつと廻ってくるはずだ。新しい仕事にひそむ魔の手を今晚は資料や写真も見ながら考えていきたい。多数の参加を!!

7月予定

- 16日(木) 運営会「何でも話そう」
- 23日(木) 歴史
- 30日(木) スライド上映「世界の労働者 - バナ物語」

7月予定

(仮称)釜ヶ崎 夜間学校 ニュース

第39回報告: 健康観をつくりかえよう!

精神が健康であることにより

身体が健康も保てる

釜ヶ崎には、病気になるやすく、また治しにくい条件がそろっています。

病気になる前に、自分自身で健康管理に気をつけよう。とみんなが話し合いました。

「どうして、身体が悪くなると分るのか。」と分らないうちから誰も気をつけようとしなない。

「俺の友だちは、毎日、玄米のオニギリを買ってきて食べている。以前は、身体が調子が悪かったが、今は元気だ。それは、玄米自体の良さもあるが、それ以上に、その人が、身体を大切にしようとする精神の健康さがあるからだと思う。」

「からだのところが生き生きと働いている生活が、できなければ健康ではない。」

「日雇労働者は、昔は、肩にゴブがでなければ一人前ではな

いと言われていた。そのように自分で自分の身体を痛めつけてそれを誇りにしているところがあ

る。」「やっぱり、仕事してたら競争意識がどうしても出てくる。だから、

「昼休みにも、お互いに腹割って話したりしないし、帰るとストレスがたまり、酒を飲んだりしてうっぶんをはらすことにな

る。」「自分が、今の仕事を覚えていかなければ、病気はなくならない。」

「話し合いだけをしても解決しない。例えば、技術をもっている人は、もっといい人に教える。そのように、具体的に

すすめていかなければ何にもならない。いつまでもアブしたと嘆いていないで、どうしたらいいのかがみんな考えていこう。」

健康法

- おフロの入り方 —
- ・少しぬるい湯でゆくりと入る
- ・汚れをとるためだけにではなく、骨の上を洗う。(リンパ液の流れが促進されて、身体機能が活発になる)

みんながつくるみんなのひろば
(仮称)釜ヶ崎夜間学校
運営委員会準備会

萩の茶屋 21818・喜望の家内
電話(06)64713946
(毎週木曜日7時~10時の間)

